



6月6日(土)、両島川生き物観察会を開催し、子どもたちを中心に34人が参加しました。今年でなんと10年目です。10年間も続いたということになります。始めたころはこんなに長く続くとは思いませんでした。その甲斐あってか、前年度から市の地域チャレンジ応援事業の補助対象事業となりました。

水辺の生き物観察会



今年で10年目!!

たがわ



令和8年7月1日現在	
総世帯数	2,065世帯
総人口	3,922人
男	1,888人
女	2,034人

両島川は、新聞やテレビのニュースで取り上げられたとおり、市が実施した浚渫によって生き物の棲み家が脅かされています。特にホテルにとっては深刻です。浚渫自体は否定しませんが、市が浚渫前に事前相談していただけなかったことを悲しく思いました。ぜひ市民が協働し、両島川の生態系を守りたいと考えています。

さて観察会の報告ですが、やはり生き物が少なかったようです。というのも、代表者の私が体調不良で参加できませんでした。せっかくの10周年の記念事業だったのにとっても残念でした。

浚渫された川はキレイに整備され、よどみや土、草、中石などがなく、生き物の隠れる場所が少なくなっていました。でも、生き物にとっては死活問題なのです。それでもサワガニやヒメガムシ、カワナ、ドジョウ1匹などが捕れました。子どもたちは楽しんで活



動していたようで、よい体験になったことでしょう。これからも事業を続けていくように頑張りたいと思います。

【たがわ水辺を守る会 横山裕己】

北八ヶ岳 坪庭ウォーキング



梅雨の晴れ間の6月13日(土)、蓼科・北八ヶ岳坪庭ウォーキングが総勢39名の参加により開催されました。

バスで蓼科高原別荘地の林を抜け、標高1771メートルの地まで行き、そこから100人乗りのロープウェイでさらに500メートル高い坪庭駅まで上がりました。上高地より高い地に降り立つと、

さすがに冷涼な空気、身も心も引き締まります。溶岩で形成された坪庭と呼ばれる散策路のウォーキングです。木道やロープで整備されていますが、起伏に富んだコースを各自のペースで楽しみました。イワカガミ、ハイマツなどの高山植物を愛でながら、坪庭駅まで戻りました。

ロープウェイは片道7分ほどですが、北には蓼科山と横岳、東には八ヶ岳連峰、南には木曾駒ヶ岳、西には北アルプス。そして眼下には鮮やかなレンゲツツジ。すてきな眺めを満喫し、豪華なランチも



【気楽に運動委員 平沢】

いただきました。ゆっくり山の空気を浴びて心身のリフレッシュができました。

田川百景

シリーズ～田川地区の架け橋⑤～

風景を切りとる大画面 田川下流、新たにできた落合橋歩道橋は、松本の東西を見渡せる絶景ポイントとなっています。幅4.2メートル、高さ3.4メートルもの枠を風景画の額縁として観てみました。【館報編集委員 越山】



▲橋を通じて東の方角を望む



▲橋を通じて西の方角を望む

